

評価シート（年度評価）

名古屋市民ギャラリー栄の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市民ギャラリー栄の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(3) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	・ 月間情報紙「& Art」を創刊し、情報発信に努めた。
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	◎	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
展覧会情報誌を刷新し、市民ギャラリー栄の月間情報紙として「&Art」を創刊し、展覧会情報だけでなく、アートに関する記事も掲載し、内容を充実させることで情報発信に努めた点が評価できる。また、紙媒体だけでなく、Instagramを活用して、定期的な展覧会情報「手のひらアート」の発信にも注力している点も望ましい。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

評価シート（年度評価）

名古屋市民ギャラリー矢田の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市民ギャラリー矢田の管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成28年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(3) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまでになかった利用が増え、初めてギャラリーを利用する利用者也増加したためより丁寧な案内に努めた結果、お客様満足度調査の職員対応に関する評価で非常に高い満足度を獲得し、リピーターの確保にもつながった。更に、360°カメラを使って展覧会の様子をインターネット上で見られるようにするなど、鑑賞や広報の新たな手法を積極的に取り入れている点についても評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

施設の現状

市民ギャラリー(2か所)

施設の現状	施設概要							
	美術作品等の発表の場を提供することにより、市民文化の振興に寄与するために設置された施設です。具体的には、展示室の貸出や、アートにより親しんでもらうための主催事業を実施しています。							
	市の収支状況(千円)（3年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	76,247	49,364	125,611	5	31,984	93,622	125,611	29,526
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	利用率(市民ギャラリー栄)		%	100.0	96.2	35.2	54.3	
	利用率(市民ギャラリー矢田)		%	76.0	63.3	37.0	52.3	
	収支率(市民ギャラリー栄)		%	52.6	51.8	29.8	46.7	
	収支率(市民ギャラリー矢田)		%	35.9	30.5	22.8	27.2	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市民ギャラリー矢田における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団				
主な業務内容	名古屋市民ギャラリー矢田の管理				
評価対象期間	平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月	指定管理期間	平成 28 年 4 月～令和 5 年 3 月		

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	
1 基本事項							・研修については新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、配置等体制のみ評価した(2)
(1) 平等利用	○	○	○	○	○	○	
(2) 開館の実績	○	○	○	○	○	○	
(3) 情報管理	○	○	○	○	○	○	
(4) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
(5) 法令等の遵守	○	○	○	○	○	○	
(6) 事故・災害等への 対策・対応	○	○	○	○	○	○	
2 維持管理							
(1) 建物・設備の保守 点検	○	○	○	○	○	○	
(2) 警備業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 清掃業務	○	○	○	○	○	○	
(4) 備品の管理	○	○	○	○	○	○	
3 サービス							・利用率が対計画値比 4.4 ポイント増、対前年度比 2.4 ポイント増(29) ・ホール利用率 67.6%（1 月末時点）で、対計画値比 5.2 ポイント減、対前年度比 8.4 ポイント減(1)
(1) 利用実績	○	◎	○	△	—	—	
(2) 事業実施状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 広報・PRの実施	○	○	○	○	○	○	
(4) 接客態度	○	○	○	○	○	○	
(5) 苦情・要望の把握・ 対応	○	○	○	○	○	○	
(6) 利用者満足度	○	○	○	○	○	○	
4 経費等							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	
(2) 収支状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 再委託	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 28 年度	劇場、ギャラリー一体利用の提案、「春割・近割」の各種割引サービスの紹介をする等、積極的な営業活動に取り組んだ結果、前年度実績を下回ったものの 74.1%と計画値を達成するに至った。 施設事業では、愛知県と共催で障がい者による芸術展「あいちアールブリュット展」を開催し、3000 人以上の来場者数を記録する等、障がい者によるアート作品を市民に向けて広く紹介することで新たな文化芸術の振興に寄与した。
平成 29 年度	利用者への継続した営業活動、「春割」等の利用促進策が結実し、利用率は 76.8%と対計画値比 4.4 ポイント増となった。 施設事業では、「ファン・デ・ナゴヤ美術展」開催に併せて乳幼児を持つ保護者等を対象にした事業を実施し、日頃ギャラリーに足を運ぶことが難しい子育て世代にも気兼ねなくアートに触れる機会を創出した。
平成 30 年度	第 1 展示室の申込期間の見直しや、「春割」等の割引サービスの紹介、利用者への継続的な営業活動に努めた結果、利用率は前年度実績には届かなかったが、計画値を 3.4 ポイント上回る 76.0%となった。 施設事業では、市内のギャラリーと連携して「アートな街めぐり」を実施し好評を博すなど、市民が気軽に文化芸術に触れる機会を創出するとともに、ギャラリー矢田の認知度向上に寄与した。
令和元 年度	第 1 展示室の多目的利用の促進のため、床面を絨毯張りに変更するなど、利用率向上の取り組みを実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の 1 月末時点での利用率は計画値及び前年度実績を下回る結果となった。 施設事業では、デジタルメディアアートの展覧会である「大名古屋電脳博覧会 2019」を開催した。地域の大学と連携して実施し、若い世代に対して発表・鑑賞の機会を提供するとともに、出展者や来場者の交流の場としても機能しており、若手芸術家の支援とギャラリー矢田の知名度向上に寄与している。
令和 2 年度	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった施設事業が多いなか、若手作家の作品を展示する「motion 展」を、従来から内容を一部変更した形で開催した。作者が自分の作品について語るトークコーナーを例年実施していたが、感染症への対策として中止し、代わりに作者による作品紹介を事前収録してウェブ配信し、会場で配布した二次元コードから見られるような取り組みを実施した。感染症による制限を受けながらも、開催方法を工夫して事業の成功につなげている点が評価できる。

	なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまでになかった利用が増え、初めてギャラリーを利用する利用者も増加したためより丁寧な案内に努めた結果、お客様満足度調査の職員対応に関する評価で非常に高い満足度を獲得し、リピーターの確保にもつながった。更に、360°カメラを使って展覧会の様子をインターネット上で見られるようにするなど、鑑賞や広報の新たな手法を積極的に取り入れている点についても評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

3 利用状況等

具体的な取組みや成果等
劇場とギャラリーの一体利用の提案など、利用者への営業活動を始めとした利用促進に努めたが、利用率が前年度実績と計画値を下回る年もあった。令和2年度と令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により計画値に達しなかった。

4 収支状況等

具体的な取組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
デジタルメディアアートの展覧会や乳幼児を持つ保護者を対象にした事業など、様々な題材や対象を設定することで、施設の認知度向上と幅広い分野の芸術作品の鑑賞機会創出に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響下においては展覧会の様子をインターネット上で発信し、鑑賞や広報の新たな手法を積極的に取り入れている点が評価できる。